

活動の場所

珊瑚陸上養殖：沖縄県那覇市
珊瑚植え付け：沖縄県近海



活動目的

デジタル技術を活用し、障がいをお持ちの方がオフィス内水槽で養殖観察・飼育した珊瑚を、海に植え付けることで珊瑚の保全につなげることを目指しています。

活動内容

サンクスラボは、那覇市泉崎に本社を置き、IT×障がい者の活躍をテーマとする事業を行なうスタートアップ企業です。沖縄・九州・中国地方の全17拠点に、障がい者が特性に応じたサポートを受けながら継続して就労を行うことができるA型事業所を構えており、A型事業の1つとして珊瑚保全事業を行なっています。

障がいをお持ちの方々には、センサーやアプリ等のデジタルツールを用いて「珊瑚のオフィス内水槽養殖①」をしていただき、企業や漁協等と連携しながら、オフィス内水槽で育った「珊瑚の海への植え付け②」と植え付け後の観察を行なっています。

①珊瑚のオフィス内水槽養殖

- ・現在は那覇市内のオフィスで水槽21台を稼働させ、12種類の珊瑚を育成中ですが、今後は県内を中心に拠点を増やして珊瑚事業を拡大すると共に、水槽台数と育成珊瑚種を増やしていく予定です。
- ・デジタル技術を活用し作業負担を軽減することで、オフィス内水槽での珊瑚の養殖観察・飼育などの業務で障害をお持ちの方に活躍していただいています。



②珊瑚の海への植え付け

- ・オフィス内水槽で育てた珊瑚をスティックに接着し、自然岩礁への植え付けを行っております。

PRしたいポイント

- ・A型事業の一つとして珊瑚保全事業を行っているため、環境を保全しながら障がい者の就労支援を行っていること。
- ・デジタル技術を活用し、オフィス内水槽養殖～植付・保全活動を行っていること。

活動効果、今後の展開 等

- 珊瑚を保全する活動を通じて、障がいをお持ちの方への雇用機会創出
- 危機に瀕する珊瑚を保全するために、珊瑚を「早く・強く」育てる研究の実施や、珊瑚の水槽での有性生殖による増殖を実施（受精卵による増殖）する予定
- 珊瑚の温室効果ガスの吸収・削減量の検証の研究を進め、ブルーカーボンのクレジットとしての認証の取得を目指す